

優秀賞

一般建築物改修部門

京都駅ビル (熱源・空調設備更新, 緑水歩廊・雨庭)

京都市下京区

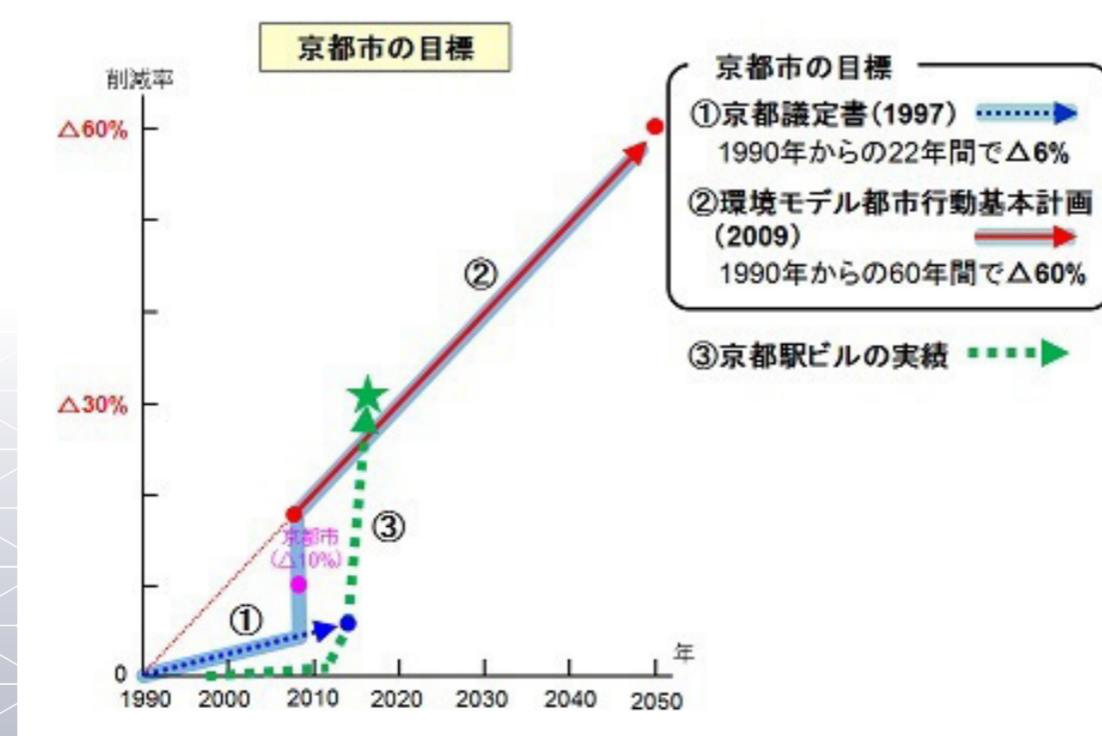
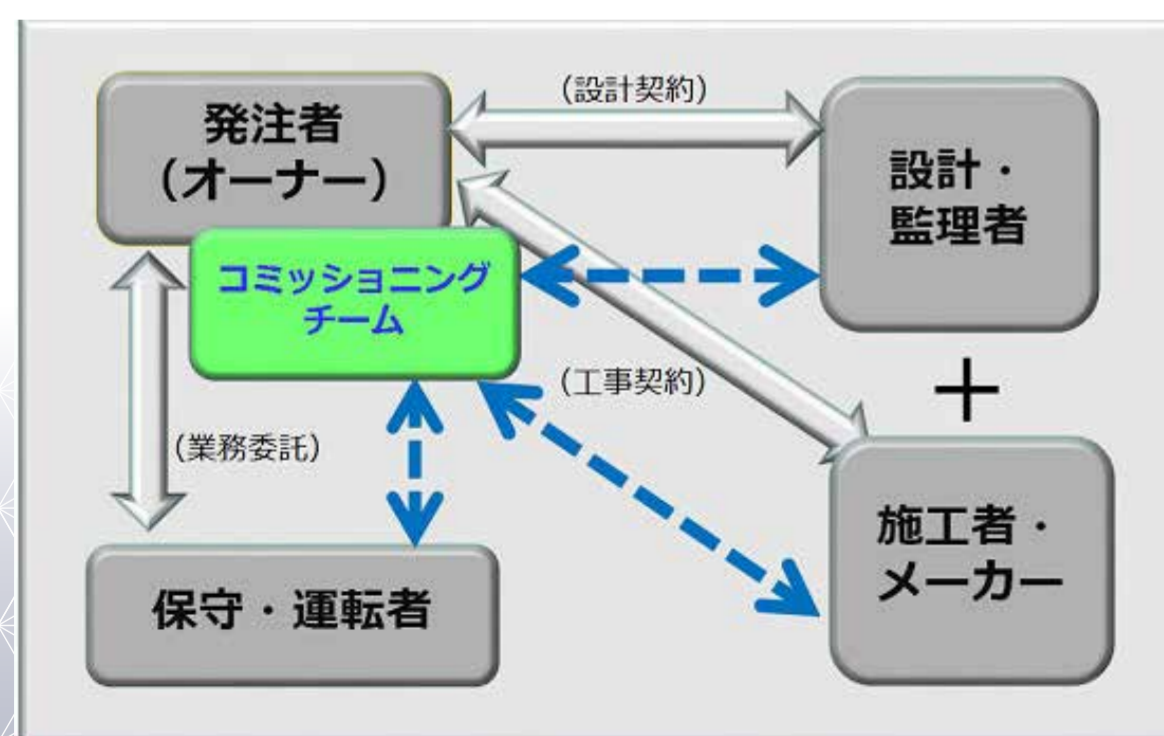


建築主

京都駅ビル開発株式会社

設計者・施工者等

<熱源・空調設備更新> NPO法人建築設備コミッション協会, 株式会社日建設計, 高砂熱学工業・テクシア共同企業体, 西日本電気システム株式会社
<緑水歩廊・雨庭> 京都駅ビル未来委員会, 株式会社ジイケイ京都, 株式会社環境総合テクノス



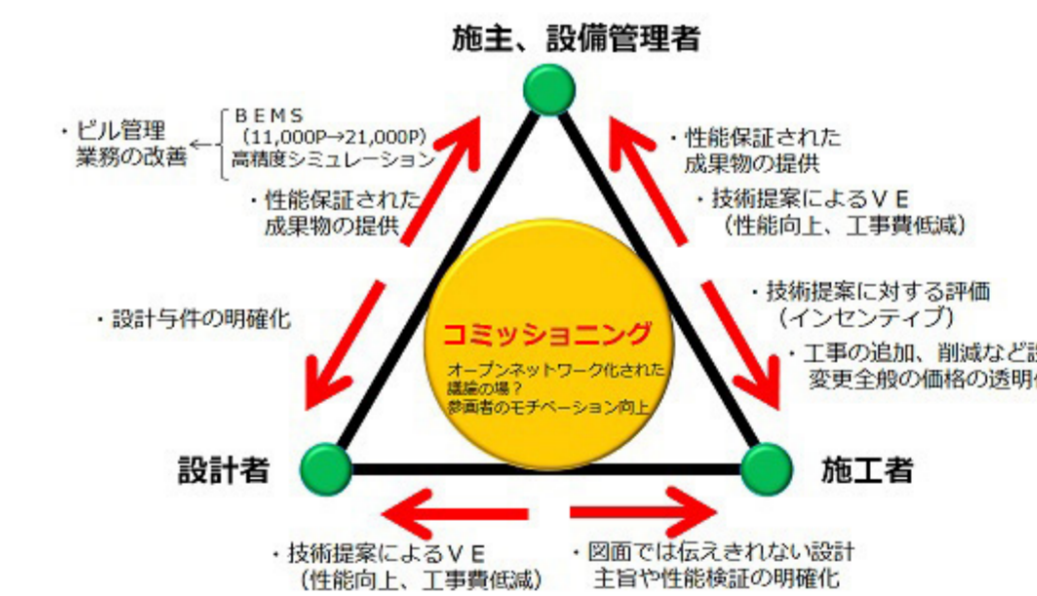
環境モデル都市京都のシンボリックな建物の一つとしての負荷削減・普及啓発の取組み

京都駅ビルは、KES(京都環境マネジメントシステムスタンダード)、省エネ、立地を生かした普及啓発により環境配慮への取組みを行っている。建築物としては設備更新によるエネルギー消費量・CO2排出量の大幅削減、立地・情報発信力を生かした生物多様性保全の普及啓発に取り組んでおり、これらの成果や得られたノウハウが京都駅ビル以外の建築物でも活用されることにより、低炭素社会の実現・生物多様性保全に少しでも貢献できることを目指している。



コミッションング手法を導入した熱源設備・空調設備の更新により、エネルギー消費量、CO2排出量を大幅に削減

環境モデル都市京都にふさわしい建築物として、エネルギー消費量及びCO2排出量の大幅削減を目指し、コミッションング手法を導入した熱源・空調設備改修を行い、エネルギー消費量・CO2排出量に関して、熱源で60%減(2009年比)、ビル全体で30%減(2009年比)と大幅な削減を実現した。



最新の制御装置や監視装置の導入、エネルギー搬送動力の削減、太陽熱・井水等自然エネルギーの利用、営業を継続しながら旧来の蒸気システムから温水システムに変更する等、根本的なシステム変更を行うとともに、エネルギーマネジメント(BEMS)を導入するなど運用面においても工夫を行い、大幅なエネルギー削減を実現している。



既存建築物に設置したビル型雨庭「緑水歩廊」による、生物多様性保全に関する普及啓発

緑水歩廊は、既存の建築物に設置できるビル型雨庭(あめにわ)で、京都駅ビル内に連続的に設置されたプランターに京都の原風景である「里山」「棚田・湿地」「池沼」の植生を再現・育成した展示物である。雨水や太陽光発電で汲み上げた地下水湧水を貯め、重力により下階へ循環させ、100%自然の力による水循環のしくみを採用している。

緑水歩廊を起点とした学校・企業との連携や、京都駅ビルの立地や情報発信性を活かした様々な活動を行い、生物多様性保全に関する普及啓発に取り組んでいる。